

【小悪魔】

「ねえ、あなた人間以外にも興味ある？」

【小悪魔】

「ここでいう興味ってのは…性的に、って事だけどねえ～」

【小悪魔】

「まあ、あるわよね、人間じゃ無い私の囁きで、こんなに鼓動速くなってるしい、くふふ」

【小悪魔】

「で、今回の子はお察しの通り人間じゃ無いの。ふっさふさの毛皮に長いお耳。犬族の獣人よ」

【小悪魔】

「多分、子取り…若い子を捕獲するハンターね、に捕まえられたんでしょうね」

【小悪魔】

「獣人って一部のマニアの間じゃ超人気あるから」

【小悪魔】

「基本犬族は従順なんだけど、あの子はちょっと跳ねっ返りみたいね」

【小悪魔】

「まあ鎖付きだし、大した抵抗も出来ないでしょ、それにいざとなったら、うふふ」

【小悪魔】

「あ、ほら、今から調教が始まるわよ、さあ、一緒に楽しみましょ、くふふ」

【獣人】

「ぐるうう、ううううう、ぐううう」

【獣人】

「がうがう、がう、がうがうがうっ」

【小悪魔】

「おーおー、怒ってる、怒ってる、尻尾見て見なさいよ、凄い立ってる」

【小悪魔】

「え、お前の尻尾も怒ると立つのかって？ さあ～どうでしょ、試して見る？」

【小悪魔】

「もっとも、私を怒らせたなら…怖いわよお～うふふ」

【獣人】

「ぐるうう、ううううう、ぐううう、がうがうがう」

【獣人】

「ぐるううう、うううう」

【獣人】

「きゃん！？ きゃん、きゃん、きゃん」

【小悪魔】

「あら、あの子ぶたれちゃった、うわあ、あのムチ痛そ」

【獣人】
「くう～ん、くう～ん」

【小悪魔】
「そうだ、あなたが私を怒らせたら、あの子みたいにムチでお仕置きしちゃおうかしら、ピシピシって」

【小悪魔】
「案外目覚めちゃうかもよ？ こんな美少女に調教されたら、うふふ」

【獣人】
「うう～、ぐるる…ぐるう」

【獣人】
「がう、がうがうがう、がうう」

【小悪魔】
「あの子、頑張るわねえ。けど、逆らえば逆らうほど…」

【獣人】
「きゃん！ きゃんきゃんきゃん」

【獣人】
「きゃん！ きゃああん、きゃんきゃん」

【獣人】
「きゃん！ きゃあああん、きゃんきゃああん！」

【小悪魔】
「まあ、こうなるわよねえ。あー、可愛そう」

【獣人】
「くう～ん…くう～ん」

【獣人】
「うう…うう～、ううう～」

【小悪魔】
「おお、まだ唸ってる。凄いガッツね、いじらしいわあ」

【小悪魔】
「あなたもあれ位頑張れる？ え、余裕だつて？ へえ～」

【小悪魔】
「なら、今度試して見ましょうか？ じっくり、たっぷり、調教してあげる」

【小悪魔】
「痛みだけでなく快感で泣き叫ぶ程、ね、くふふ」

【獣人】
「うう、ぐるう、ぐるう～、ぐるぐる」

【小悪魔】
「ん～それにしてもあの子、直接的な痛みには強いのかも」

【小悪魔】
「あれだけ毛皮に覆われてたら、皮鎧位の防御力ありそうだし」

【小悪魔】
「あ、あの首輪…成る程、今度のは効くかもね」

【獣人】
「ぐるうう、ううううう、ぐううう」

【小悪魔】
「え？ まあ、見てなさいな、ふふふ」

【獣人】
「ぎひ！？　ぎやいいいいいいいん！」

【獣人】
「ぎゃん、ぎゃん、ぎゃん、ぎゃあん！」

【獣人】
「ハ、ハ、ハ、ハ、ハ」

【獣人】
「くう～ん、くう～ん」

【小悪魔】
「何をしたのかって？　あれって魔導具…つまり魔法の掛かった首輪なのよ」

【小悪魔】
「野生の獣や魔獣を馴れる為の道具なの。使用者が念を込めると…」

【獣人】
「ぎゃふ！？　ぎやいいいいいいいいいん」

【獣人】
「ぎゃん、ぎゃん、ぎゃん、ぎゃん、ぎゃん」

【獣人】
「ぎやいいいいいん、ぎゃんぎゃあああん」

【獣人】
「ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ…くう～ん」

【小悪魔】
「と電撃が流れてあんなふうになっちゃうのよ」

【小悪魔】
「逆らうとこうなる、と体に覚え込ませるって訳ね、あ一人間ってなんて残酷なんですよ、やだやだ」

【獣人】
「うう…ぐるう、ぐるううう」

【小悪魔】

「あー、またそんな態度を取って。逆効果なのよねえ」

【小悪魔】

「めめめ泣かれるより、ずうううっと嗜虐心が刺激されちゃうんだから」

【獣人】

「ぎゃひ！　ぎゃひiiiiiiiiiiん」

【小悪魔】

「わあ、見て見て毛が逆立ってるわ、まるで怒ったヤマアラシね、くふふ」

【小悪魔】

「え、笑い事じゃないって？　じゃあどうすればいいの？　こっちからは干渉できないよの？」

【小悪魔】

「なら、せめて見届けてあげるのが筋じゃない？」

【獣人】

「きゃん、きゃん、きゃん…きひいいん」

【小悪魔】

「あら、おしっこ漏らしちゃってる、痛いんでしょうねえ…けど、水分って余計に電気を通しやすくなるから…」

【獣人】

「ぎゃiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiん！」

【小悪魔】

「ってなるわよねえ、あーあ」

【小悪魔】

「おーお、白目剥いてる。これは効くでしょ」

【小悪魔】

「大きく口開いて、舌が垂れ下がってるわ、凄い量の涎ねえ」

【小悪魔】

「そのうちおしっこだけじゃなくて、うんちまで漏らしちゃうんじゃないの？」

【獣人】

「ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ」

【獣人】

「うう、ううう、うううう、ううう」

【小悪魔】

「さすがにアレは堪えたみたいだけど」

【獣人】
「う、うう、ぐるう、うう」

【小悪魔】
「わあ、まだ唸ってる。体はボロボロだけど目が死んでないわ」

【獣人】
「ぐるう、ぐるう、ううう」

【小悪魔】
「ムチも駄目、魔道具にも屈しない…その根性感動的ですらあるわ」

【小悪魔】
「けど、根性だけじゃどーにもならない事ってあるのよねえ」

【小悪魔】
「どういう事って？ まあ見てなさいな、状況が変化し始めたわよ」

【獣人】
「がう？　ぐるぐる、ぐうう」

【獣人】
「ぎゃう！　がうがうがう！　がうがうがう！」

【獣人】
「がう、がるううう、がう」

【小悪魔】
「やっぱり…ほら、口の所、何か飲ませようとしてるでしょ？」

【獣人】
「ぐうううう、がう、がう、がう、がう！」

【小悪魔】
「毒薬？　違うわ、殺しちゃ意味ないでしょ。まあ、精神を殺す、っていう意味じゃ近いかもだけど」

【獣人】
「ぐうう、がう、がうがうがう」

【小悪魔】
「抵抗してるけど無駄だと思うわ。あ…」

【獣人】
「んが！？　ふがあああああ、んんぐ、んんぐ、んんぐ」

【小悪魔】
「あーあ、飲まされちゃった。アレ、かなり強いよねえ。彼女と言えど…多分、耐えられないわね」

【小悪魔】
「即効性があるからそのうち効いてくるわ、ほら、見て

【小悪魔】
「あは、あんなに頑なだった子が、ほら、目がトロおんとして、涎だらだら垂らしちゃってる」

【小悪魔】
「あーあ、落ちちゃった。見て、尻尾ブンブン振ってる、可愛いでちゅねえ」

【小悪魔】

「あの媚薬随分効くんだなって？ そりゃそうよ、なんたって私お手製なもの」

【小悪魔】

「あは、驚いた？ 100%の確率で発情しちゃうの。なんなら…あなたに使ってあげてもいいんだけど？」

【獣人】

「くう～ん、くう～ん、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、くううん」

【小悪魔】

「あらまあ、お腹見せちゃってる、あーあ、完落ちねえ、くふふ」

【小悪魔】

「ほら、物欲しそうな目をしてる。自分でアソコ、イジリ始めちゃった」

【小悪魔】

「あんなに激しく…くちゅくちゅって音と、むせるような雌犬の匂いが漂ってきそう」

【小悪魔】

「あーあ、毛皮がびっちょびちょ、床まで雌犬汁が滴り落ちてる」

【小悪魔】

「わ、オマンコ丸見え。ふうん、人間のとそんなに変わらないのね」

【小悪魔】

「え、私のとは？ さあ～どうでしょ、簡単に見せたりなんてしなわよおーだ」

【小悪魔】

「けど、どーしても、ってなら…考えない事も、んちゅ」

【小悪魔】

「ちゅ、ちゅ、ちゅ、ちゅう、ふふ、私に欲情しちゃ駄目よお」

【小悪魔】

「小が付くと言っても悪魔なんだから、魂、取られちゃうかもよお？ ちゅ、ちゅ、ちゅ、ちゅう」

【小悪魔】

「ほら、今の主役は、あの子よ、しっかり見てあげなさいな」

【獣人】

「くううん、んん、くうん、ハ、ハ、ハ」

【小悪魔】

「ほら、ご主人様にお尻向けてる。わんちゃんだから、バックで犯して欲しいのね」

【小悪魔】

「あ、入るわよ、ほら、あんなに太いのが、わんちゃんのオマンコに…ずっぷり ♪」

【獣人】

「きやうううううううううん」

【獣人】

「きゃん、きゃん、きゃん、くうううううん」

【小悪魔】

「あはは、凄い乱れようね、文字通り尻尾振っちゃってる」

【小悪魔】

「んちゅ、ちゅ、ちゅ、やだ、あの子見てたら、私までドキドキしてきちゃったわ、もお」

【獣人】

「くうん、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、きやうううん」

【小悪魔】

「おちんぼ出入りしてる、雌犬汁でてらってらに光って
…んんちゅ、ちゅ、ちゅ、イヤらしい、ふふ、んちゅちゅ」

【小悪魔】

「タガが外れると、人より乱れやすいのかしらうふふ」

【小悪魔】

「あの子、身も心もとろっとろね、自分で作っておいてなんだけど…凄い効き目」

【小悪魔】

「んちゅ、ちゅ、ちゅ、ちゅ、ちゅ、ちゅうう」

【小悪魔】

「あなたも呼吸、速くなってる。あそこのご主人様に自分を重ねて居るのかしら」

【小悪魔】

「それとも、獣人の方？ 身も世も無くオチンチンで突かれ、乱れてる彼女が羨ましい？」

【小悪魔】

「ふふ、お望みとあれば、犯してあげても…なんて、うふふ」

【獣人】

「きやん、きやん、きやん、きやあん」

【小悪魔】

「そろそろイキそうね、あはは、あの子、前足で床をひっかいているわ、ホントにわんちゃんみたい」

【小悪魔】

「ちゅ、ちゅ、ちゅ、あなたも、射精、しそう？」

【小悪魔】

「私にお耳舐められて、パンツを精液で濡らしちゃう？」

【獣人】

「きやん、きやん、きやん、きやああああん」

【小悪魔】

「ちゅ、ちゅ、ちゅ、いいわよ、イキなさいな。
あの子と一緒に、達しなさい、ほらほら」

【獣人】

「きやん、くううん、くうううううん」

【小悪魔】

「ほら、だしちゃえ、だしちゃえ、んちゅ、ちゅ、ちゅ…ちゅう、ちゅうううう」

【獣人】

「がう！？ んつきやああああああああん」

【小悪魔】

「あああああん、出たあ、うふふふふ」

【獣人】

「くう～ん、くう～ん、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ」

【小悪魔】

「あらやだ、あの子お漏らししてる、俗に言うウレションってやつね」

【小悪魔】

「あなたと、一緒ね、こんなにお漏らし、うふふ」

【獣人】

「くうん、くうん、きゃん、きゃん、きゃん」

【小悪魔】

「ふふ、あの喜びよう…きっとあの子も幸せね、たっぷり、愛して貰いなさいな」

【獣人】

「きゃん♪」